

第4分科会

テーマ

「親子の関係改善により子どもが変わる、里親も変わる！ーフォスタリングチェンジ・プログラム」～静岡市里親家庭支援センターの実践報告から～

静岡市においては、里親委託率の増加とともに、児童虐待や不適切な養育を受けた子どもが惹き起こす様々な問題行動への対応に苦慮し養育に行き詰る里親が増えており、今後、一層の里親支援が求められている状況となっています。

そのような中、昨年、英国発祥の「フォスタリングチェンジ・プログラム」が日本で初めて導入され、九州地区において子どもとのよりよい関係づくりや子どもの問題行動の改善に大きな成果がみられたことから、静岡市里親家庭支援センターにおいても平成29年度からモデル的に実施したので、その実践を報告します。

当セッションでは、講師から「フォスタリングチェンジ・プログラム」の概要を説明した後、ファシリテーターから当プログラムの実施報告を行い、併せてプログラム修了者の体験発表を行ったうえで、参加者からの質問や相談等に対応します。

出演者

- 講師： 静岡福祉大学 教授 相原真人 氏
報告者： NPO法人静岡市里親家庭支援センターアドバイザー 佐野多恵子氏
プログラム修了者（依頼中）
進行役： 静岡市里親家庭支援センター

講師プロフィール

相原 真人 氏

静岡福祉大学社会福祉学部教授

静岡市健康福祉審議会委員、同審議会児童処遇審査部会会長、焼津市要保護児童対策地域協議会代表者会議学識経験者委員、静岡市児童虐待事例検証委員会委員長

主な職歴：

- 1983年4月 埼玉県庁へ上級福祉職として入職し、その後、児童相談所、リハビリテーションセンター、県立病院等に勤務
- 2001年4月 東京国際福祉専門学校ソーシャルワーク総合科専任講師
- 2007年4月 大正大学非常勤講師
- 2008年4月 静岡福祉大学社会福祉学部准教授
- 2011年4月 静岡福祉大学社会福祉学部教授（現在に至る）

主な著書：

- 「家族援助の基礎と実際」（共著／文化書房博文社・2007年）
- 「社会福祉援助技術の基礎と実際」（共著／文化書房博文社・2008年）
- 「輝く子どもたちー児童福祉新論」（共著／八千代出版・2008年）
- 「ソーシャルワーカーの社会福祉原論Ⅱー現代社会と福祉ー」（共著／大正大学出版会・2009年）
- その他著書多数